

I 第 6 次 N A C C S 詳細仕様 「中間報告後における追加検討状況」の概要

平成27年 6 月 4 日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. これまでの検討経緯

| 年 月 日 | 会議等開催実績 | 討議・決定事項等 |
|-------------|------------------------|--|
| 平成24年 3月12日 | 第4回 情報処理運営協議会 | ・航空／海上更改専門部会の設置を承認 |
| 平成24年 5月28日 | 第1回 航空・海上（合同）更改専門部会 | ・第6次NACCS基本仕様書の検討開始 （主な検討事項の審議） ・基本仕様書の具体的検討はWGにおいて実施することの承認 |
| 平成25年 2月 7日 | 第2回 航空・海上（合同）更改専門部会 | ・第6次NACCS基本仕様書（案）の審議・承認 |
| 平成25年 3月22日 | 第5回 情報処理運営協議会 | ・第6次NACCS基本仕様書の承認 |
| 平成26年 8月 1日 | 第3回 航空・海上（合同）更改専門部会 | ・第6次NACCS詳細仕様の検討開始 （主な検討事項の審議） ・詳細仕様の検討体制の承認 |
| 平成27年 2月 3日 | 第4回 航空・海上（合同）更改専門部会 | ・第6次NACCS詳細仕様書 中間報告（案）の審議・承認 |
| 平成27年 3月 6日 | 第7回 情報処理運営協議会 | ・第6次NACCS詳細仕様書 中間報告（案）及び今後の 予定についての承認（決議事項詳細は、次ページ参照） |
| 平成27年 6月 4日 | 第5回 航空・海上（合同）更改専門部会 | ・第6次NACCS詳細仕様書「中間報告後（案）における 追加検討状況について」の審議 |

2. 第7回情報処理運営協議会（H27.3.6）における決議（承認）内容（1）

決議事項1：第6次NACCS詳細仕様 中間報告（案）について

1. 次期（第6次）NACCSの開発

平成29年10月の稼働を目的に以下を開発コンセプトとして次期（第6次）NACCSの更改作業を進めています。現在は、EDI仕様を含む詳細仕様の検討を進めています。

【次期（第6次）NACCS開発コンセプト】

- 官民共同利用の基幹システムとして、安定性・信頼性の高いシステムの実現
- 公共的インフラとして、効率性・経済性の高いシステムの実現
- 総合物流情報プラットフォームとしての更なる機能の充実

2. 調達状況

次期（第6次）NACCSのハードウェア/ソフトウェア等開発ベンダーについては、一般競争入札の結果、平成26年6月10日に株式会社エヌ・ティ・ティ・データが落札しました（約290億円）。また、データセンターについても、同年11月に公募を行った結果、同社以外の者からの応募はありませんでした。

3. 詳細仕様の検討体制及び進捗状況

昨年8月から、第4回情報処理運営協議会において設置された航空/海上更改専門部会及びワーキンググループを中心に詳細仕様の検討を進めています。なお、特定業種間に関係する個別検討事案については、第3回更改専門部会において7つのサブワーキングを設置し、実務者レベルによる検討を進めています。

4. 詳細仕様の中間報告（案）について

本年2月3日の第4回航空/海上更改専門部会において、詳細仕様の中間報告（案）が、別冊のとおり取り纏められましたので、本情報処理運営協議会において了承を得て正式に確定をしたいと考えています。

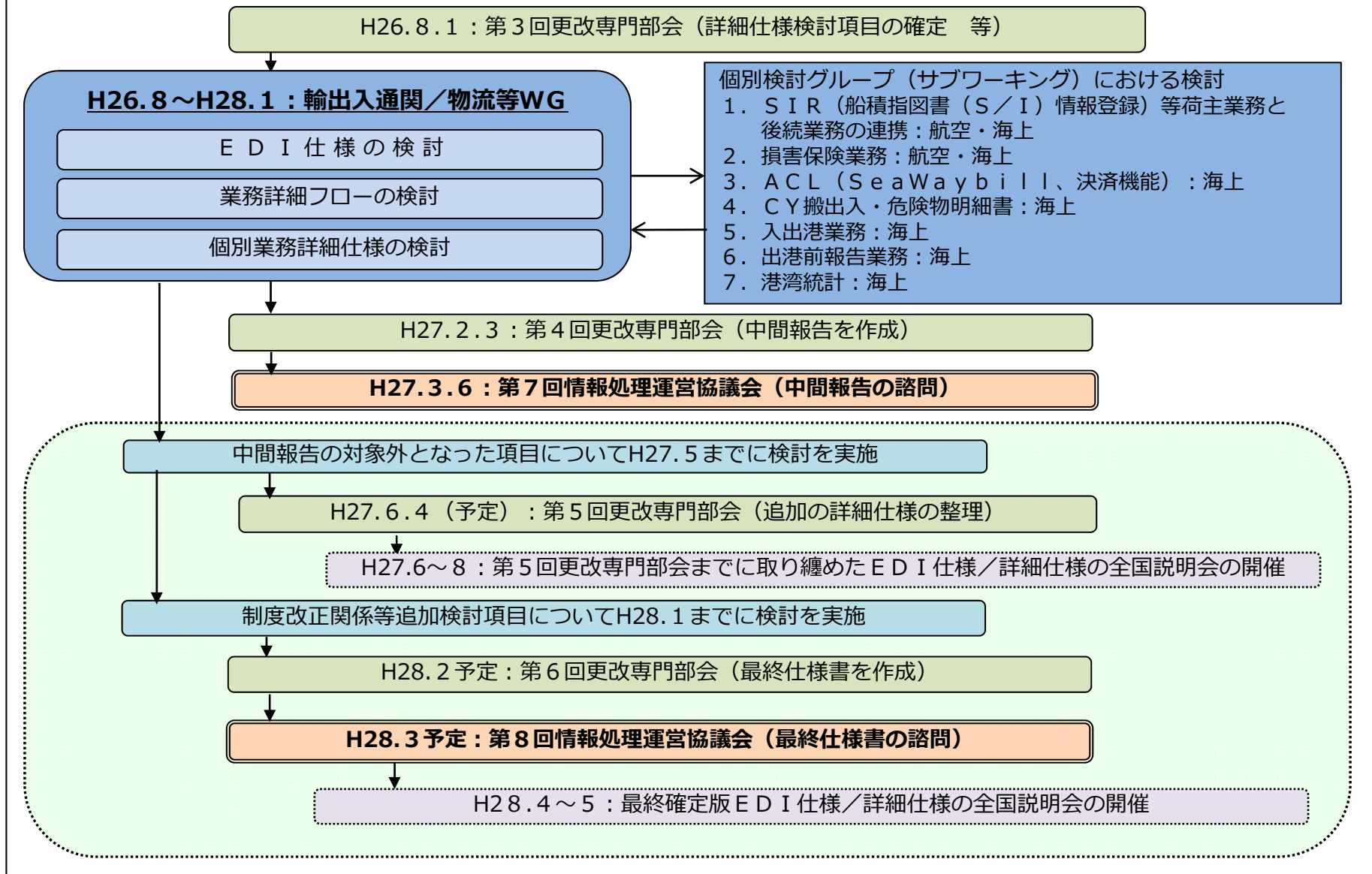
5. 今後の予定

本年6月を目的に詳細仕様の大枠を固めるべく引き続き検討を進めます。同月にその時点での検討状況を整理するため第5回航空/海上更改専門部会を開催し、その後、本中間報告と共に当該検討状況についても、ご利用のお客様に対して全国で説明を行い、円滑な更改に向けてのご理解ご協力を賜りたいと考えています。

詳細仕様の最終確定については、当初の予定どおり、来年の情報処理運営協議会において決定させていただきたいと考えています。

2. 第7回情報処理運営協議会（H27.3.6）における決議（承認）内容（2）

決議事項1：第6次NACCS詳細仕様 中間報告（案）について（参考資料）



3. 第6次NACCS開発コンセプトと詳細仕様（第4回専門部会提出資料）

官民共同利用システムとして、 安定性・信頼性の高いシステム

- ・システムの安定性、信頼性を確保するシステム更改の実現
- ・情報の適正管理と情報セキュリティの確保
- ・平成22年12月10日に発生したシステム障害を踏まえ、バックアップ機能の改善等の検討

- ・海/空統合、関係省庁システム統合後の初めての更改であり、円滑なシステム移行を確保
- ・現行NACCSと同等の稼働率の継続
- ・セキュリティ機能の見直し
- ・バックアップ機能の改善
 - ⇒ 切替時間の短縮化
 - ⇒ 関係省庁手続のバックアップ機能の強化
 - ⇒ 切替方法の改善（利用者側の作業軽減）

公共的インフラとして、効率性・ 経済性の高いシステム

- ・システムの効率性、経済性を確保するシステム構成、業務機能の見直し
- ・システム開発コストの低減化の実現
- ・関係省庁システムとの統合の見直し

- ・業務実態・利用者ニーズを踏まえた業務全般の最適化及び開発コストの低減化
- ・利用実態等を踏まえたオンライン業務、管理資料の一部統廃合
- ・利用者側システムへの影響を抑制したシステム開発
- ・一般競争入札による調達
- ・港湾サブシステム等のNACCS統合化

総合物流情報プラットフォーム としての更なる機能の充実

- ・関係業界、利用者のニーズを業務仕様に反映
- ・貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展
- ・B to B、B to Gのポータルとして、国際的なシステム連携機能や民間システムとの連携強化の検討
- ・利用者インターフェース、ネットワークの充実

- ・利用者ニーズを十分に反映するためサブワーキングを設置
- ・損害保険業務とNACCSとの連携
- ・添付ファイル容量の拡大（3MB→10MB）
- ・EDI FACT、XML等の利用による国際標準への対応
- ・船腹予約業務、危険物明細書のシステム化の検討
 - （海上）
- ・荷主の情報入力を最上流とする業務フローの見直し
 - （海上）
- ・Web NACCSの対象範囲の拡大

○空/海システム統合、関係省庁システム統合後の初めての更改

○システムの安定性・信頼性

- ⇒バックアップ機能の改善
- ⇒セキュリティ機能の見直し 等

○税関手続関連の見直し

- ⇒通関関係書類の電子化・ペーパーレス化の推進
 - ・添付ファイル容量の拡大 等
 - ・損害保険業務のシステム化
- ⇒システム対象手続の拡大
 - ・ドキュメント通関
 - ・輸出取止め再輸入手続 等

○業務実態、利用者ニーズを踏まえた見直し

- ⇒海上業務フローの見直し
 - ・第5次からの参加業種の業務処理フローの見直し
- ⇒海上システムにおける航空貨物の取扱いの廃止
- ⇒蔵入後の後続処理可能化
- ⇒各種制限値の見直し
- ⇒プロ変要望（245件）の検討
- ⇒業務の統廃合等の実施
- ⇒専用口座の廃止
- ⇒ユーザインターフェースの見直し
- ⇒システム停止時間の短縮化

○総合物流情報プラットフォームとしての機能充実

- ⇒港湾サブシステム統合
 - ・入出港SW機能の拡充
- ⇒民業業務の拡充
 - ・船腹予約業務等のシステム化
 - ・ACL、CY搬出入業務の改善
- ⇒業種拡大
 - ・損害保険会社

4. 中間報告事項からの追加・変更箇所一覧（概要）

本年3月に中間報告を行った詳細仕様検討項目のうち下記の項目については、中間報告後において追加等の提案を実施していることから、内容の追加変更が生じている。

| 区分 | 航空 海上 | 当初 提案 WG | 基本 目次 | 検討項目 | 追加変更の概要 | 資料2 ページ |
|----------|----------|----------------|-------------|-------------------------|---|------------|
| 共通 | 航空 海上 | 第12回 WG | 基本 Ⅱ-1他 | 第6次NACCSにおける EDI仕様関係 | <ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイ配下での利用を除き、メール処理方式のパッケージソフトを廃止する案を再提案 e b M S対象業務の見直し（継続検討中） ダイヤルアップ回線の提供廃止を提案 当初提案を基本とする 具体的なバックアップセンターへの切替方法（案）を提案 Web NACCS用電文受信ソフトの廃止を提案 動物/植物検疫における添付最大容量を1～5MBに変更 入力共通項目におけるシステム識別欄の見直しを提案 | 2～17 |
| 共通 | 航空 海上 | 第13回 WG | 基本 Ⅱ | 第6次NACCSの信頼性 | <ul style="list-style-type: none"> メンテナンスによるシステム停止回数の削減を提案 中年度更改の移行時間を提案 | 18～19 |
| 貨物 共通 | 海上 | 第12回 WG | 基本 Ⅳ-5-1 | 蔵入及び移入貨物の後続業務の 可能化 | <ul style="list-style-type: none"> 後続業務の可能化について保税蔵置場による選択制の導入を提案 上記に基づく基本業務フローの概要を提案 | 20～23 |
| 通関 | 航空 海上 | 第9回 WG他 | 基本 Ⅳ-5-1 | 通関士審査業務の新設 | <ul style="list-style-type: none"> 通関士審査業務から訂正業務の呼出しを可能とするリンク機能を追加提案 | 24～27 |
| 通関 | 航空 海上 | 第11回 WG | 基本 Ⅳ-5-3 | 損害保険業務とNACCSの 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 業務詳細仕様の提案 | 28～32 |
| 通関 | 航空 海上 | 第11回 WG | 基本 Ⅳ-6-2 | 輸出入申告における入出力 項目の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 新規項目、既存項目の桁数変更等について追加提案 | 33～38 |
| 貨物 | 海上 | 第11回 WG | 基本 Ⅳ-6-他 | CY搬出入業務の改善 | <ul style="list-style-type: none"> プログラム変更項目の最終（案）を提案 | 39～41 |
| 貨物 | 航空 海上 | 第9回 WG他 | 基本 Ⅳ-6-他 | 見本持出し関連業務の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 「持出先」欄における全角70桁の日本語入力の可能化を提案 | 42～43 |
| 共通 | 海上 | 第11回 WG | 基本 Ⅴ-3 | 港湾統計データの配信方法 変更 | <ul style="list-style-type: none"> 管理資料における提供項目の追加等を提案 | 44～45 |

5. 中間報告後における検討状況の概要（1）

| 項目 | 概要 | 資料2 ページ | |
|--------------|---------------|---|------|
| システムの安定性・信頼性 | 中間報告 H27.3 | 1. バックアップ機能の改善 ①切替時間等の短縮化 ②関係省庁手続のバックアップ機能の強化 ③切替方法の改善 | - |
| | | 2. 大規模災害等を想定したバックアップセンターの設置場所の選定（非公表） | - |
| | | 3. セキュリティ機能の見直し ①主体認証機能（ID・パスワード）の見直し ②WebNACCSにおけるnetNACCSと同等のセキュリティの導入 | - |
| | 追加項目 H27.6 | 1. バックアップ機能の改善（追加提案） バックアップセンターへの具体的な切替方法についての最終提案 | 9～13 |
| | | 2. 移行関係 第6次NACCSへの移行は、第5次NACCSの機能、データを一括で移行することとし、移行に要する時間は5時間程度を予定 | 18 |
| | | 3. 中年度更改 第6次NACCSのシステムライフ期間中、平成33年10月にハードウェアの更新（中年度更改）を実施。中年度更改における移行時間は、 <u>最大5時間程度</u> を予定 | 18 |

5. 中間報告後における検討状況の概要（2）

| 項目 | 概要 | 資料2 ページ | |
|----------------|---------------|--|---------|
| 税関手続関連の 見直し | 中間報告 H27.3 | 1. 通関関係書類の電子化・ペーパーレス化の推進 ① 最大電文長 及び 添付ファイル最大サイズの見直し ② 損害保険業務のシステム化 ③ 通関書類の添付対象手続の見直し | - |
| | | 2. システム対象手続の拡大 ① 航空貨物におけるドキュメント通関のシステム化（汎用申請業務対応） ② 輸出取止め再輸入手続のシステム化 | - |
| | | 3. その他 ① 通関士審査業務の新設 ② 輸出入申告項目の見直し（継続検討） ③ 輸出入申告等における多欄申告対応（現行：50欄⇒第6次：99欄） | - |
| | 追加項目 H27.6 | 1. 減免税制度適用輸出入申告における残数量等管理業務の新設 ⇒ 関税割当品目を対象とする残数量等管理業務の新設 | 51～56 |
| | | 2. マイナンバー（法人番号）に係る対応 ① 法人番号が付与された輸出入者に係る輸出入申告等における法人番号入力必須化 ② 「輸出入者コード」入力対象業務における法人番号の入力可能化（桁数拡大）等 | 57～60 |
| | | 3. 輸入申告事項登録業務における入港日のblank入力化（海上） | 86 |
| | | 4. 輸出入申告官署の自由化の概要 ① AEO輸出入者に係る輸出入申告等における非蔵置場官署への申告可能化 ② 上記対応を実現するために必要な項目を輸出入申告項目として追加 | 125～127 |
| | | 5. 機用品蔵入承認申請業務の海上貨物への対応等 ① 海上貨物として到着した機用品に対する「機用品蔵入承認申請（CTA等）」業務の利用可能化 ② 機用品に係る総保入承認申請業務の可能化 | 64～68 |
| | | 6. 仮陸揚貨物の「保税蔵置場運送（市内運送）：OLC」業務における価格入力の任意化 | 78 |
| | | 7. 出港前報告制度に係る関連業務の見直し（継続検討） | 143～174 |

5. 中間報告後における検討状況の概要（3）

| 項 目 | 概 要 | 資料2 ページ |
|---|--|------------|
| 業務実態、利用者 ニーズを踏まえた 見直し 中間報告 H27.3 | 1. 海上業務フローの見直し（第5次からの参加業種の業務処理フローの見直し） <ul style="list-style-type: none"> ① 海上における物流業務フローは、荷主による情報入力を最上流として位置付け、後続業務における情報の流用や二重入力の排除を実現 ② 荷主による「船腹予約情報登録業務」を新設し、船会社による「ブッキング情報登録（BKR）」業務との連携を実現 ③ 海上輸出業務においては、B/L関連の情報の流れと申告関連の情報の流れを別の業務フローとして整理。B/L関連については、SIR情報を「ACL情報登録（ACL）」業務の上流情報と位置付け、SIRの項目はACLの項目に原則として合わせる。 | - |
| | 2. 海上システムにおける航空貨物の取扱いの廃止 海上システムにおける航空貨物の取扱い機能を廃止し、航空貨物は航空システムで、海上貨物は海上システムで一貫して業務処理を行うこととする。 | - |
| | 3. 事項登録業務・確認業務の追加（海上保税運送申告、本船・ふ中扱い承認申請） | - |
| | 4. 各種制限値の見直し 航空貨物の小口化対応、物流実態等を踏まえた入力可能欄数の増加等を実施する。 | - |
| | 5. 蔵入後の後続処理可能化（海上） 蔵入承認済貨物に関する搬出入管理、改装・仕分け等を可能とする。 | - |
| | 6. B/L番号入力仕様の見直し <ul style="list-style-type: none"> ① B/L番号の35桁化 ② 仕分け（仕合せ）時のB/L番号枝番体系の見直し ③ 内取りの可能化 | - |
| | 7. プログラム変更要望（245件）の検討 現行NACCSに寄せられているプログラム変更要望について、第6次NACCSでの対応是非等について検討を実施し、必要と判断したプログラム変更を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「ACL情報登録（ACL）」業務における記号番号欄のレイアウトの見直し ② 「空コンテナピックアップ登録（PUR）」業務の入力項目の見直し ③ 特例申告納期限延長にかかる据置担保、個別担保の併用可能化 ④ パッケージソフトにおける外部ファイル（過去データ）の再利用の可能化 等 | - |

5. 中間報告後における検討状況の概要（4）

| 項 目 | 概 要 | 資料2 ページ |
|-----------------------------|---|------------|
| 業務実態、利用者 ニーズを踏まえた 見直し | 8. 業務の統廃合、実態に即した業務名への変更等の実施 利用実績が著しく低い業務等の廃止、類似業務の統合、業務実態に即した業務名への変更等を実施する。 | - |
| | 9. 専用口座の廃止 N A C C S専用口座は、平成28年度末で廃止する。 | - |
| | 10. ユーザーインターフェースの見直し ① パッケージソフトのバージョンアップ手続の簡素化 ② W e b N A C C S の対象として海上の入出港業務、利用頻度の高い照会業務等を追加 | - |
| | 11. オンライン処理方式の見直し 現行処理方式のうち、ダイレクト・インターフェース（D / I）は廃止する。 | - |
| | 12. システム停止時間の短縮化 定期メンテナンスを目的としたシステム停止について、停止回数、停止時間の削減を図る。（基本仕様合意事項：具体的な実現方法は、第14回WG以降において提示予定。） | - |
| 追加項目 H27.6 | 1. ユーザーインターフェースの見直し（追加提案） N A C C Sパッケージソフト（メール処理方式）の提供終了（ゲートウェイ配下の利用は継続） | 3～4 |
| | 2. システム停止時間の短縮化（追加提案） メンテナンスによるシステム停止については、原則として年間6回程度（概ね隔月で1回程度、2～3時間程度、原則日曜日早朝） | 18～19 |
| | 3. 見本持出し関連業務の見直し ⇒ 見本持出し許可申請業務における「持出先」欄の日本語入力の可能化等 | 42～43 |
| | 4. 汎用的な添付業務 関係省庁向けの届出・申請業務等実施後に、当該届出・申請に係る添付ファイルを送付可能とする汎用的な添付業務を新設する。 | 49～50 |
| | 5. 「航空会社向け貨物引渡し登録（R V A 0 1）」業務等の見直し 税関が認めた保税蔵置場に限り、R V A業務等とE X M業務等の併用を可能とする見直しを実施する。 | 62～63 |

5. 中間報告後における検討状況の概要（5）

| 項 目 | 概 要 | 資料2 ページ |
|--------------------------------------|---|------------------|
| 業務実態、利用者 ニーズを踏まえた 見直し | 6. 照会業務の改善 ① 担保照会、為替レート照会の照会結果画面からの繰り返し照会の可能化 ② 「貨物情報照会（ICG）」業務におけるデフォルト画面の変更（概要 → 全体） | ①71～72 ②76～77 |
| | 7. リアルタイム口座振替完了通知の改善 「輸入申告事項登録（IDA）」業務で入力される「記事（荷主）」欄、荷主リファレンス番号」及び「荷主セクションコード」欄の内容をリアルタイム口座振替完了通知に反映 | 74～75 |
| | 8. 輸出申告（少額）におけるHS品目コードの入力 「輸出申告事項登録（EDA）」業務の少額申告の際、HSコード9桁の入力による品名の自動補完を可能とする。 | 83 |
| | 9. 輸出自動車情報登録（MOA）関連業務の改善 「輸出自動車情報照会（IMO）」業務において、MOAの入力順での出力とする等 | 91～92 |
| | 10. 関係省庁業務の改善等 ① 動物検疫手続き業務の見直し ⇒ 「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における到着後申請の自動起動化等 ② 植物防疫手続き業務の見直し ⇒ 「植物等輸入検査申請事項登録（IPA）」業務における卸下場所のコード化、検査申請控への申請年月日の出力 等 ③ 食品検疫手続き業務の見直し ⇒ 「食品等輸入届出事項登録（IFA）」業務における「品目名」等の項目について英名から和名での出力に変更、連絡書に対する返答機能の追加 等 ④ 医薬品医療機器等輸出入手続き業務の改善 ⇒ 関係者に対する電子メール通知機能の追加 等 ⑤ 検疫（人）手続き業務の見直し（航空） 「検疫前通報（GIAO1）」業務における記事欄の桁数拡大、日本語入力の可能化 等 | 95～123 |
| | 11. 蔵置料金請求先に係る補完機能の見直し 「輸入申告事項登録（IDA）」業務等に「蔵置料金請求先」欄を新設し、当該欄に入力された場合は、「搬出確認登録（OUT）」業務実施時の請求先に反映（自動補完）する。 | 129 |

5. 中間報告後における検討状況の概要（6）

| 項 目 | 概 要 | 資料2 ページ | |
|------------------------|---------------|---|---------|
| 総合物流情報プラットフォームとしての機能充実 | 中間報告 H27.3 | 1. 港湾サブシステムの統合等 港湾サブシステムのNACCS統合、乗員上陸許可支援システムの一部機能のNACCS移管による入出港シングルウィンドウ機能の拡充を実施する。 | - |
| | | 2. 民民業務の拡充 ・船腹予約業務等の新設やACL業務、CY搬出入業務の改善を実施する。 | - |
| | | 3. 業種拡大 損害保険会社を新たな業種として拡大する。 | - |
| | | 4. 港湾統計用データの見直し 港湾統計用データの精度向上に必要な見直しを実施するとともに、港湾管理者に対し直接提供する方法を採用する。 | - |
| | 追加項目 H27.6 | 1. 利用者アクセス回線の見直し ① 利用者アクセス回線のうち、ダイヤルアップ回線を廃止する。 ② 回線容量の拡大を目的とする新たな回線メニューを提供する。 | 6 |
| | | 2. 民民業務の拡充（追加提案） ① 船腹予約業務の詳細仕様（案）の提案 ② 危険物明細書作成業務の詳細仕様（案）の提案 | 132～142 |

6. 詳細仕様の検討経過：ワーキンググループ（WG）開催実績（1）

| 開催日 | 航空合同WG | 開催日 | 海上合同WG |
|----------------|--|----------------|---|
| 第8回 8月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ID体系の見直し ・NACCS専用口座の廃止 ・輸出入申告業務における多欄数化 ・航空保安基準（KS/R A）対応 ・クレームノーティスのシステム化（1） ・eAWBの現状とNACCS対応 ・現行プログラム変更要望の次期対応 | 第8回 8月28日 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ID体系の見直し ・NACCS専用口座の廃止 ・輸出入申告業務における多欄数化 ・事項登録業務の新設（OLC） ・現行プログラム変更要望の次期対応 |
| 第9回 9月29日 | <ul style="list-style-type: none"> ・納期限延長におけるリアルタイム口座対応 ・通関士審査業務の新設 ・1MAWBあたりのHAWB件数の拡大（輸出・輸入） ・見本持出し関連業務の見直し ・現行プログラム変更要望の次期対応（2） | 第9回 9月30日 | <ul style="list-style-type: none"> ・納期限延長におけるリアルタイム口座対応 ・通関士審査業務の新設 ・見本持出し関連業務の見直し ・現行プログラム変更要望の次期対応（2） |
| 第10回 10月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ID体系の見直し（2） ・WebNACCS対象業務の変更 ・事項登録業務・確認業務の追加（2） ・海上システムにおける航空貨物取扱の廃止 ・現行プログラム変更要望の次期対応（3） | 第10回 10月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ID体系の見直し（2） ・WebNACCS対象業務の変更 ・事項登録業務・確認業務の追加（2） ・海上システムにおける航空貨物取扱の廃止 ・見本持出し関連業務の見直し（2） ・B/L番号体系変更時のRSS01業務の実施可能化 ・現行プログラム変更要望の次期対応（3） |
| 第11回 11月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWGの検討結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・SIR/IVA関係 ・損害保険業務のシステム化 ・輸出入申告における入出力項目の見直し（1） ・輸出取止め再輸入手続きのシステム化 ・事項登録業務・確認業務の追加（3） ・1MAWBあたりのHAWB件数の拡大（輸出・輸入）（2） ・現行プログラム変更要望の次期対応（4） | 第11回 11月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWGの検討結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・SIR/IVA関係 ・損害保険業務のシステム化 ・ACL関係 ・CY搬出入・危険物明細書 ・港湾統計 ・入出港（1） ・輸出入申告における入出力項目の見直し（1） ・輸出取止め再輸入手続きのシステム化 ・事項登録業務・確認業務の追加（3） ・貨物重量項目の桁数拡大 ・1B/Lにおけるコンテナ本数の拡大 ・汎用申請手続きの個別業務化 ・保税運送承認番号の複数件入力 ・現行プログラム変更要望の次期対応（4） |

注：航空合同WG：航空輸出入通関WG／航空物流等WGの合同開催
海上合同WG：海上輸出入通関WG／海上物流等WGの合同開催

6. 詳細仕様の検討経過：ワーキンググループ（WG）開催実績（2）

| 開催日 | 航空合同WG | 開催日 | 海上合同WG |
|----------------|--|----------------|---|
| 第12回 12月11日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特例申告納期限延長に係る据置担保、個別担保の併用可能化 ・ 通関書類の添付対象手続きの見直し ・ ドキュメント通関（輸出入）のシステム化 ・ 蔵入・移入貨物の後続業務の可能化 ・ 廃止オンライン業務・廃止管理資料及び月報管理資料配信日の変更等 ・ 1便あたりの旅客数の拡大 ・ スプリット便数の拡大（輸出・輸入） ・ ジョイント入力廃止 ・ スプリット扱いとなる輸入混載貨物の搬入確認業務の見直し ・ 個数違いによるDiscrepancy Noticeの出力条件 ・ クレームノータスのシステム化（2） ・ 第6次NACCSにおける接続処理方式等 ・ パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了 ・ 第6次NACCSにおけるバックアップ機能 ・ 添付ファイル最大サイズ及び最大電文長の見直し ・ NACCSパッケージソフトの改善 | 第12回 12月11日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サブWG検討結果：入出港（2） ・ 特例申告納期限延長に係る据置担保、個別担保の併用可能化 ・ 通関書類の添付対象手続きの見直し ・ 蔵入・移入貨物の後続業務の可能化 ・ 廃止オンライン業務・廃止管理資料及び月報管理資料配信日の変更等 ・ 業務名称の変更 ・ 第6次NACCSにおける接続処理方式等 ・ パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了 ・ 第6次NACCSにおけるバックアップ機能 ・ 添付ファイル最大サイズ及び最大電文長の見直し ・ NACCSパッケージソフトの改善 |
| 第13回 1月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ID体系の見直し（3） ・ 第6次NACCSにおけるセキュリティ対策 ・ 通関士審査業務の新設（2） ・ システム制限値（データ保存期間）の変更 ・ LDR単位の搬入総個数の表記 ・ 関係業界との事前調整の結果実施しないこととした案件 ・ 第6次NACCS詳細仕様（案）（第4回更改専門部会報告資料） | 第13回 1月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ID体系の見直し（3） ・ 第6次NACCSにおけるセキュリティ対策 ・ 通関士審査業務の新設（2） ・ システム制限値（データ保存期間）の変更 ・ B/L番号の入力仕様の見直し ・ 関係業界との事前調整の結果実施しないこととした案件 ・ 第6次NACCS詳細仕様（案）（第4回更改専門部会報告資料） |

6. 詳細仕様の検討経過：ワーキンググループ（WG）開催実績（3）

| 開催日 | 航空合同WG | 開催日 | 海上合同WG |
|---------------|---|---------------|--|
| 第14回 2月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「担保照会（I A S）」業務の改善 ・「為替レート照会（I E R）」業務の改善 ・口座使用明細書の出力内容の見直し ・リアルタイム口座振替完了通知書の改善 ・見本持出関連業務の見直し<2> ・H A W B情報登録（H C H）業務の入力件数の拡大 ・「混載仕立終了情報登録（H D E）」業務の複数件一括処理機能の追加 | 第14回 2月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「担保照会（I A S）」業務の改善 ・「為替レート照会（I E R）」業務の改善 ・口座使用明細書の出力内容の見直し ・リアルタイム口座振替完了通知書の改善 ・見本持出関連業務の見直し<3> ・「貨物情報照会（I C G）」業務の改善 ・保税運送（市内運送）における価格入力 ・帳票出力日時出力 ・「輸入コンテナ引取予定情報通知（I D通知）（R S S 0 1）」業務における通知先誤入力への対応 |
| 第15回 3月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・蔵出輸入申告におけるA E O対応機能の新設 ・輸入申告事項登録の改善 ・輸入許可データ配信先の見直し ・搬入時申告時におけるエラー通知の改善（パッケージソフト） ・「輸出自動車情報登録（M O A）」業務の改善 ・別送品輸出許可通知情報等の二重出力の可能化 ・保留コードの統一化 ・「輸入畜産物検査申請（I L C）」業務における到着前申請に対する自動起動化 ・「輸入犬等検査申請事項登録（I Q A）」業務等の改善 ・「植物等輸入検査申請事項登録（I P A）」業務等の改善 ・輸出植物検査申請業務等のN A C C S - E D I化 ・「食品等輸入届出事項登録（I F A）」業務等の改善 | 第15回 3月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWG検討結果：次期A C L業務<2> ・蔵出輸入申告におけるA E O対応機能の新設 ・輸入申告事項登録の改善 ・輸入許可データ配信先の見直し ・搬入時申告時におけるエラー通知の改善（パッケージソフト） ・「輸出自動車情報登録（M O A）」業務の改善 ・別送品輸出許可通知情報等の二重出力の可能化 ・蔵入貨物の後続業務の可能化<2> ・保税管理資料に影響ある業務の搬出入日チェック ・保税台帳の収集条件の見直し ・コンテナ番号のチェック機能の改善 ・「輸入畜産物検査申請（I L C）」業務における到着前申請に対する自動起動化 ・「輸入犬等検査申請事項登録（I Q A）」業務等の改善 ・「植物等輸入検査申請事項登録（I P A）」業務等の改善 ・輸出植物検査申請業務等のN A C C S - E D I化 ・「食品等輸入届出事項登録（I F A）」業務等の改善 |

6. 詳細仕様の検討経過：ワーキンググループ（WG）開催実績（4）

| 開催日 | 航空合同WG | 開催日 | 海上合同WG |
|---------------|--|---------------|---|
| 第16回 4月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWG検討結果：損害保険業務のシステム化<2> ・パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了<2> ・ダイヤルアップ回線の廃止 ・第6次NACCSへの移行及び第6次NACCSにおける中年度更改 ・マイナンバー（法人番号）に係る対応 ・減免税制度適用輸出入申告における残数量等管理業務 ・機用品蔵入承認申請（CTA/CTC）業務の海上貨物への対応 ・通関士審査業務の新設<3> ・RVA業務等の見直し ・1MAWBあたりのHAWB件数の拡大（輸出・輸入）<3> ・「輸出畜産物検査申請事項登録（EMA）」業務における検査実績等の入力 ・汎用的な添付業務の仕組みの提供 ・連絡機能のNACCSパッケージへの追加 ・「事前届出搬入連絡（IFG）」後の検査命令書の自動発行 ・「食品等輸入届出事項登録（IFA）」業務等の改善<2> ・医薬品医療機器等輸出入手続き業務の改善 | 第16回 4月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWG検討結果：損害保険業務のシステム化<2> ・パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了<2> ・ダイヤルアップ回線の廃止 ・第6次NACCSへの移行及び第6次NACCSにおける中年度更改 ・マイナンバー（法人番号）に係る対応 ・減免税制度適用輸出入申告における残数量等管理業務 ・機用品蔵入承認申請（CTA/CTC）業務の海上貨物への対応 ・通関士審査業務の新設<3> ・「船積確認登録（CCL）」業務の入力可能者の見直し等 ・「輸出畜産物検査申請事項登録（EMA）」業務における検査実績等の入力 ・汎用的な添付業務の仕組みの提供 ・連絡機能のNACCSパッケージへの追加 ・「事前届出搬入連絡（IFG）」後の検査命令書の自動発行 ・「食品等輸入届出事項登録（IFA）」業務等の改善<2> ・医薬品医療機器等輸出入手続き業務の改善 |
| 第17回 5月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第6次NACCSにおけるEDI仕様 ・第6次NACCSにおける保守 ・電文受信ソフト廃止に伴う影響 ・BILL情報の配信機能の実装及びBILL請求先欄の追加 ・輸出入申告官署の自由化対応 ・輸出入申告項目の見直し<2> ・輸入予備申告における検査指定情報等の出力 ・輸入申告事項登録における他法令（食品衛生、植物防疫、動物検疫）識別の入力桁数拡大 ・関係業界との事前調整等の結果実施しないこととした案件<2> ・「検疫前通報（GIA01）」業務等にかかる改善 ・医薬品医療機器等輸入報告事項登録業務の改善 ・植物等輸入検査業務における木材検疫要綱「認可証明書」の交付 ・第6次NACCS詳細仕様「中間報告後における追加検討状況」 | 第17回 5月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・サブWG検討結果1：CY搬出入<2> ・サブWG検討結果2：港湾統計<2> ・サブWG検討結果3：出港前報告制度 ・電文受信ソフト廃止に伴う影響 ・第6次NACCSにおけるEDI仕様 ・第6次NACCSにおける保守 ・輸出入申告官署の自由化対応 ・輸出入申告項目の見直し<2> ・輸入予備申告における検査指定情報等の出力 ・輸入申告事項登録における他法令（食品衛生、植物防疫、動物検疫）識別の入力桁数拡大 ・船腹予約業務のシステム化 ・危険物明細書のシステム化 ・空コンテナの仮陸揚対応 ・管理資料「G11卸コンテナリスト取扱一覧データ」等の改善 ・関係業界との事前調整等の結果実施しないこととした案件<2> ・医薬品医療機器等輸入報告事項登録業務の改善 ・植物等輸入検査業務における木材検疫要綱「認可証明書」の交付 ・第6次NACCS詳細仕様「中間報告後における追加検討状況」 |